



日本臨床死生学会
JAPANESE SOCIETY FOR CLINICAL THANATOLOGY

第1回 死生学～出会いと学びの リトリート 開催のお知らせ

日程 2025年10月12日（日）、13日（月・祝）

※ 定員 50 名

※ 両日の参加をお願いします。

時間 午前 9 時 50 分から午後 4 時 50 分

会場 横浜山手西洋館 プラフ 18 番館

会費 学会員 2 千円 非学会員 3 千円（2 日間）

※ 初日、受付時に現金でお支払い頂きます。



日本臨床死生学会主催の「死生学～出会いと学びあいのリトリート」が今秋から始まります。これは死生学分野では、日本で最初の試みです。

死生学——死とともに生きることを学ぶこと——は、すべてのひとの共通課題です。神学、宗教学、哲学、倫理学、社会学、福祉学、医学、看護学、文学、芸術などの専門的背景をもつ研究者はもとより、「死」と「喪失」に関心を寄せる専門職と市民の参加を歓迎します。「若手研究者に出会いと学びあいの機会を提供する」という趣旨に賛同いただける方であれば、年齢や学会所属を問わず、どなたでも参加いただけます。このリトリート・プログラムで学びを深め、新しい仲間をみつけてください。



<講師>

島蘭進 東京大学名誉教授

竹之内 裕文 静岡大学教授

第1回は、島蘭進先生と竹之内裕文先生をゲストにお招きします。島蘭先生は、ご存知の通り、日本の死生学研究における第一人者です。竹之内先生は、「対話」と「コンパッション」でコミュニティ形成を進める、死生学のフロントランナーです。

対談：「死生学はどこからどこへいくのか」

第 1 回 死生学～出会いと学びのリトリート・プログラム

DAY1 : 10 月 12 日 (日)

9 : 40	受付開始
9 : 50	開会のご挨拶・趣旨説明 (実行委員)
9 : 50～10 : 20	参加者自己紹介 (1, 2 分/1 人)
10 : 20～11 : 20	島園先生と竹之内先生の対談 テーマ 「死生学はどこから、どこへいくのか」
11 : 30～12 : 30	全体対話
12 : 30～13 : 30	昼休憩 ※昼食は各自で準備ください
13 : 30～16 : 40	研究発表 1 人 90 分×2 人
16 : 40～16 : 50	交流会・翌日の連絡⇒交流会会場へ移動
17 : 30～	交流会

DAY2 : 10 月 13 日 (月)

9 : 30	開場
9 : 50～12 : 50	研究発表 1 人 90 分×2 人
12 : 50～13 : 50	昼休憩
13 : 50～14 : 50	研究紹介 1 人 20 分 (15 分発表+5 分質疑応答) ×3 人
14 : 50～15 : 00	休憩
15 : 00～16 : 00	研究紹介 1 人 20 分 (15 分発表+5 分質疑応答) ×3 人
16 : 00～16 : 50	2 日間のプログラムを通しての振り返りと次年度の展望

★研究発表&紹介について

- 研究発表&紹介を希望する方は、申し込みフォームからご回答願います。
- 1 人 90 分の研究発表はレジュメ形式 (論文形式) での発表となり、発表・質疑応答含め 90 分となります。(10/12.13 計 4 人)
- 1 人 20 分の研究紹介は、PPT 形式での発表となります。(10/13 計 6 人)
- 今回のプログラムでは、合わせて 10 人の発表となります。発表希望者数が 10 人を上回った場合は、専門分野のバランスなどを考慮して選定させていただきますので、ご了承ください。
- 発表希望者には発表要旨を提出して頂きます。研究発表の場合、A4 用紙で 1 枚、研究紹介の場合 800 字以内にまとめてください。送付先は下記メールアドレスになります。
- 要旨の提出締め切りは 8/17 必着です。**

★注意事項

- 2 日間通しての参加をお願いします。参加費は初日、受付時に現金でお支払い頂きます。
- 宿泊、昼食は各自でご準備ください。
- 10 月 12 日(日)リトリート終了後に交流会を開催します。参加希望の方は申し込みフォームからお申し込みください。費用その他は追ってご案内いたします。



日本臨床死生学会 出会いと学びのリトリート実行委員会
問い合わせ先 & 要旨提出先 : retreat.jsct@gmail.com

実行委員 大田彩乃 高橋優香 當房朗子

参加のお申し込みは QR コードまたはメールアドレスにて受け付けております。